

## 理事長就任の挨拶



理事長 片山 和郎

平成25年6月26日の総代会の直後に行われた理事会において、五十嵐理事長の後を引き継ぎ、第14代新潟県税理士協同組合理事長に選任されました、三条地域の片山和郎です。協同組合の精神を順守し、かつ、その目的に向かい勇往邁進する所存でありますので、よろしくお願ひ致します。

理事長に就任するにあたり、私は次の三つのことを目標として、粛々と進めていきたいと思ひます。

まず一つ目は、税理士協同組合が税理士しか加入することができない団体・組織であることをもう一度直視したいと思ひます。

税理士として税理士会に加入して、初めて協同組合に加入することができるということを再確認します。即ち、税理士の経済的地位の向上を目指すと同時に、全体の受益の為に、一人一人が各組合員の組合員による組合員のための事業展開を目指したいと思ひます。

次に二つ目として、事務局の器に入る人材の承継と育成に力を入れていきたいと思ひます。

器となる事務局の修繕その他主要な備品の備え付け等は、歴代の理事長をはじめとする役員の方々の英知と、たゆまざる努力により、ほぼ

全てを済ませて頂きました。よって、これから私のすべきことは、将来を見据えた人材の採用等を視野に入れ、その器に入る人材を承継し育てていくことであると思ひます。

最後に三つ目として、50周年というメモリアルな時期を迎える準備に入りたいと思ひます。

我が協同組合は、昭和41年に創設されてから幾星霜を経て、3年後に50周年を迎えます。先人に感謝し、未来に思いを馳せる事業の検討に入りたいと思ひます。

全員が無報酬でありながら、収益事業を展開しなければならない役員の方々には、大変申し訳ないと思ひています。しかし、他人のために何かができるという、崇高な理念を心に秘めて行動できることに、その意義を見出して頂きたいと思ひます。

私達役職員にとっては、組合員の皆様や賛助会員の皆様が、協同組合事業に参加して意義があった、楽しかった、と言われることが無上の喜びであります。多数の方が集い、結集し、協同組合事業が展開できるように情熱をもって進みたいと思ひますので、何分のご協力をお願いし、就任の挨拶といたしたいと思ひます。